

第1学年 国語科教科経営案

四万十市立中村小学校

1 学校教育目標

「豊かに学び、共に生きる喜びをもつ児童の育成」

2 本校の研究主題

主体的に学ぶ児童の育成 ～単元を貫く言語活動を位置付けた国語の授業づくり～

3 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

4 学年の教科目標

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

5 教科の課題

- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら適切に話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら的確に聞くこと。
- 書く事柄を収集し、目的や意図に応じて自分の考えを明確に表現するために必要となる事柄を整理して書くこと。
- 文章構成の効果をとりえ、内容を的確に押さえたり登場人物を相互に関係付けたりして読むこと。
- 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。

6 経営方針

- 本時のめあてを児童にしっかりとめあて、めあてが達成できたかを振り返る。
- 児童が意欲的に取り組み、自ら考えたいくなるような発問の工夫をする。
- 既習事項を使って、児童が自ら課題を解決していくような授業展開を工夫する。
- 児童が関わり合う場面設定をする。
- 表現活動を取り入れる。(書く、復唱する、話し合うなど表現する活動)

7 学年の重点目標

- 国語で学んだことを生かして、身近なことなどについて、順序を考えながら話したり聞いたりする活動を仕組んでいく。
- 経験したことなどについて、順序がわかるように整理して文章を書かせる力をつけるために、いろいろな機会をとらえて文を書くことができる場面を設定する。
- 順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げて読んだりすることができ、本や文書を読むことが楽しいと感じられるようにする。